



## 目次 CONTENTS

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| ◆壬生町個人情報保護条例の一部改正について…2～3 | ◆一般質問 ……………10～15      |
| ◆9月定例議会で決められた概要……………4～5   | ◆所管事務調査報告等 ……………16～17 |
| ◆決算審査総括審査意見等 ……………6       | ◆委員会研修レポート ……………18    |
| ◆意見書の提出等 ……………7           | ◆議案に対する賛否状況 ……………19   |
| ◆委員会審査 ……………8～9           | ◆その他 ……………20          |

# 壬生町個人情報保護条例の一部改正について

平成25年5月31日付けで「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」いわゆる番号法と言われるものが公布されました。

平成27年10月5日施行により、国民一人一人に個人番号が付番され、平成28年1月1日から利用が開始されることとなります。

特定個人情報の取り扱いについて番号法との整合性を図るため、壬生町個人情報保護条例の一部を改正しました。

**問** 住民のマイナンバー制度に対する認知度と理解度はまだまだ浸透していない、周知はどのようにしているのか。

**総合政策課長** 町広報、お知らせ版、両方にかなり目立つような形で掲載していきます。さらにホームページ等にも集中的に掲載をしていきたいと考えています。

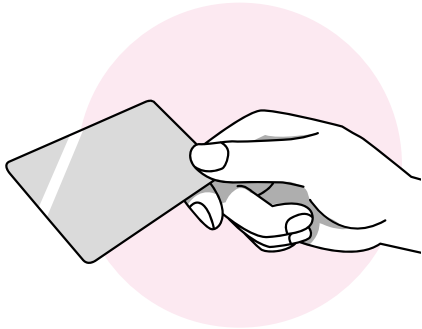
**問** 成りすましなどの可能性、危険性はないのか。

**住民課長** 10月から始まる通知カードについては、各世帯あたりに書留等で送ります。そこで受け取れない場合は、郵便局に戻ってくるということになり、一定期間、郵便局で預かりますと、その後本人から申し込みがなければまた町のほ

うに戻ってくるという状況になっています。成りすまし等については、まずは本人を確認するという意味では、書留、あるいはそれができなければ町の職員が確認することになり、その点では安全なのではと考えています。

**問** 町の事業の中では、マイナンバーの中に取り組まれる事業は、幾つぐらいあるのか。

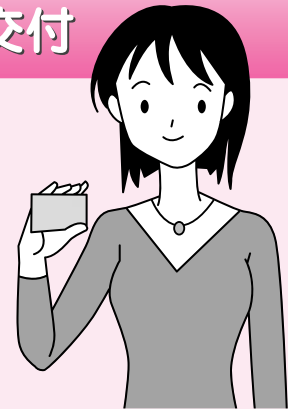
**総合政策課長** 想定される事務につきましては、住民基本台帳システム、税務、それから国民年金、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、障がい者福祉事務、児童福祉事務、健康管理事務、事務的には現在9事務を想定した形で、システムの改修等の準備を進めているところです。



## 個人番号カードのご案内

材質 プラスチック 初回無料交付

【個人番号カード】は、【通知カード】とは異なり、住所・氏名・生年月日・性別に加え、顔写真及びICチップが搭載され、**身分証明書として使える**ほか、今後検討されている各種行政手続きの簡素化や電子申請などに利用されることが見込まれる、個人番号入りのカードです。



カード表イメージ



カード裏イメージ

# 決算を認定

9月定例議会

## 掲げた取り組みを着実に推進

平成27年第3回定例議会は9月3日に招集され、9月17日までの15日間の会期で開かれました。

今回の定例議会は、町長から提出された条例の改正2件、工事請負等契約の締結2件、人事案件1件、補正予算7件、決算認定8件、その他2件の22議案並びに議員提出議案2件、意見書が1件上程され、いずれの議案も原案のとおり決まりました。

### 決算認定討論



歳入面では町税の徴収率向上や各種の国県補助金を導入し、積極的に財源を確保する姿勢が感じられます。歳出では主な事業として、住民活動の拠点となる町民活動支援センター「みぶりん」のオープン、中央公民館のエレベーター設置、町内全小学校の普通教室へのエアコン整備など、住民生活の安定と社会福祉の向上に努めています。また昨年は竜巻をはじめ多くの災害が起こりましたが、迅速な復旧及び手厚い支援制度を打ち出すなど、農業を守る施策が実施されました。さらに産業団地への「フアナック株式会社」等の企業誘致に成功するなど、堅実な行政経営に對する取り組みが行われており、賛成です。

遠藤 恭子 議員

#### 賛成討論



歳入については、地方消費税交付金をはじめとした各種交付金の予算額と決算額が大きく乖離しており、総計予算主義の原則に照らしていかげなものか。歳出では、当町の臨時職員に対して、最低賃金の引き上げ等の処遇改善がみられない。就学援助制度は、全ての児童生徒の学習、教育の権利を制度面から支えているが、統計数字から比較し対象者が低いのは、本町の所得要件が生活保護基準と極めて高いハードルであることが、利用が進まない要因となっていることから、至急改善を求める。また学校給食委託事業の請負形態は問題だ。これらの事業の具体的改善を求め反対です。

#### 反対討論

#### 【一般会計】

小貫 暁 議員



歳入については、国・県の負担金や補助金の確保に鋭意努力し、またコンビニ納付や徴収嘱託員の配置等取納対策に取り組んでおり、財源確保と負担の公平性に努めていることが伺えます。歳出では集団健診を実施し、早期の保健指導を行い、疾病を早期発見・早期治療するために「人間ドック・脳ドック検診」への費用を助成するなど、医療費を抑制するための取り組みをしていることから賛成です。

赤羽根 信行 議員

#### 賛成討論

国保加入者の平均所得は年々減少しており、加入世帯のうち21%が滞納世帯となっている。ひたすら差し押さえ等の制裁強化を推し進めているが、生活困窮者に追い打ちをかけるだけで「負担が重すぎて払えない」という根本原因の打開なしには解決には至らない。事業主負担相当額を国で負担するなど、財政投入も含めた抜本対策を求め、反対です。

#### 反対討論

#### 【国民健康保険特別会計】

小貫 暁 議員

# 平成26年度 “壬カUPすまいるプラン”に

質疑、討論等活発に審議された

## 一般会計決算(討論)

**歳入** 129億9261万6681円

町税の徴収率向上、また積極的財源確保

**歳出** 125億7490万6963円

子育て環境の充実、企業誘致に成功、健全財政を堅持

## 特別会計決算

国民健康保険特別会計(討論)、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計については、起立採決により、賛成多数で採択となりました。

公共下水道事業特別会計、奨学資金特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計については、全議員一致で採択となりました。

## 平成28年1月から マイナンバー制度が利用開始

『通知カード並びに個人番号カードの再交付は有料』

- カード再発行による手数料条例の一部改正。

通知カード並びに個人番号カードは初回発行分は、国が負担をするため無料で交付されます。

破損、紛失等による再交付は有料となります。

カードの種類	再交付手数料
通知カード	500円
個人番号カード	800円

## 人事案件

固定資産  
評価審査委員会委員を再任



平成27年9月30日任期満了  
坂本 嘉男氏(真岡市)の  
任命に同意しました。

# 決算審査総括審査意見（要旨）



代表監査委員  
瀬下龍夫氏

平成26年度壬生町一般会計、特別会計及び水道事業会計の決算並びに基金運用状況に係る審査、「決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の審査」について、各会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも、地方自治法、地方公営企業法及び同法施行令等に準拠して作成されており、決算計数も、関係諸帳簿、証書類と合致しており、誤りのないものと認められ、予算の執行に関する事務処理は概ね適正であると認められました。

町の財政構造は、経常収支比率が、前年度より1・4ポイント上がり90・5%となり、依然として高い領域にあることから、経常経費の抑制・削減に努めることを求めました。

財政力指数は前年度よりわずかながら上昇しているが、新たな自主財源の創出、地道な税収等の確保等に向けた取り組みの必要性について、意見を付したところです。

また、これらに対処する職員につきましても、現下の財政状況の厳しさを強く認識し、創意工夫を重ねながら諸施策に取り組みまれるよう求めたところです。

水道事業会計においては、水道水の安全性等に配慮した老朽管の更新に合わせ、ライフラインとして災害に強い施設の整備改修等、維持補修費の増加が懸念される現状から、中長期的な視点に立ち、計画的な施設設備の整備を行い、

良質で安心できる水の安定供給体制を堅持し、経営基盤の強化を図り、町民から信頼される水道事業に努められるよう期待するものです。

決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率等は、実質公債費比率が、前年度比0・5%上昇し、6・0%となりましたが、健全化基準の25%を大幅に下回る比率となっております。

その他につきましても、赤字額や負担額、不足額等が生じておらず、健全な財政運営が図られている事を確認致し、是正改善を要する指摘すべき事項は特にないことを報告いたします。



報告をする  
榎井監査委員

## 平成27年度 補正予算（平成27年9月定例議会可決）

（単位：千円）

会計名等	補正額	補正後の予算	補正の主な理由	
一般会計（第2号）	371,358	11,862,716	主要な一般財源である普通交付税の確定並びに平成26年度決算に伴い財源の全体的な見直しによるもの。	
一般会計（第3号）	21,974	11,884,690	台風18号による大雨に伴う災害救助費及び復旧費等を計上するもの。	
特別会計	国民健康保険（第1号）	264,098	5,606,390	平成26年度の事業実績確定による精算額の決定によるもの。
	公共下水道事業（第1号）	10,206	1,709,452	施設の維持管理上緊急を要する費用、職員給与費の精査によるもの。
	介護保険事業（第2号）	71,960	2,878,622	平成26年度の事業実績確定による精算額の決定によるもの。
	農業集落排水事業（第2号）	4,939	709,146	藤井地区処理施設の太陽光設備に要する費用等を計上するもの。
	後期高齢者医療（第1号）	4,692	346,389	平成26年度の事業実績の確定、職員給与費の精査によるもの。

# 意見書の提出

9月定例議会において、議員提出の意見書を1件可決し、関係機関へ提出した。

## 台風18号の大雨に伴う 災害対策を求める意見書

(要旨)

提出議員 大島 菊夫  
賛成議員 河野辺恒雄

〃 小貫 暁  
〃 落合 誠記  
〃 榆井 聡  
〃 田村 正敏

壬生町では、9月9日から10日にかけて全域で豪雨に襲われ、甚大な被害が生じている。今後2次災害も懸念されるため、被災箇所を早期復旧とともに農作物に対する支援も求められる。よって県においては、必要な措置を早急に講じるよう要望する。

記

- 1 被災者生活再建支援制度を見直し、支援対象の範囲を拡充すること
- 2 国に対し、激甚災害指定を求めること
- 3 災害復旧への支援と早急なる応急対策
- 4 農作物及び農業生産施設への支援

## 陳情の審査結果

9月定例議会で、審査の終了した陳情は次のとおりです。

不採択に  
なったもの

陳情第1号 『年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書』の提出を求める陳情書  
提出者……小山市三峯2-1-14  
小山地区勤労者センター内 連合栃木下都賀地域協議会  
議長 小関 隆弘



## 議会活性化に向けて中間答申

議会運営委員会では、地方分権の推進に関する決議から20年の節目を迎え、地方分権は新たなステージを迎えました。住民から信託された民主的町政実現において、住民の意思を反映させるため、平成26年8月26日に議長から議会活性化についての諮問を受けました。

そこで、議会報告会及び議会だよりの発行について、議論を重ね、本年10月10日を皮切りに「壬生町議会と住民との懇談会（トーク&ディスカッション）を開催、「議会だよりの発行月を一ヶ月早く発行することにしました。今後につきましては、継続して活性化の方策を追求して議論を重ね取り組むことなどの取りまとめをして、平成27年9月17日に議長へ答申いたしました。

# 委員会審査

9月4日から15日まで、各会計決算を慎重に審査し、常任委員長が本会議で報告をしました。

主な審査内容は次のとおりです。

## 本会議で決算認定の審議結果を報告する各常任委員長



坂田建設経済常任委員長



田村教育民生常任委員長



玉田総務常任委員長

### 総務常任委員会

委員長 玉田 秀夫  
副委員長 河野辺恒雄  
委員 落合 誠記  
市川 義夫  
赤羽根信行  
遠藤 恭子

### デマンドタクシーみぶまるの収支実績及び本格運行について

みぶまるの総支出額、約881万円、タクシー会社への運行委託費が4社で約514万円、オペレーター人件費が約350万円となっており、概ねこの2つの経費で大半を占めています。収支率は22・4%で前年比2%改善されており、県でも、20%を超えれば健全な運営とされているとの説明です。28年度より本格運

行となりませんが基本的に現状の体制により町直営の形で行きたいと考えております。

### 地域防災力強化推進事業補助金の算出について

県補助金となりますが、いくつかの基準項目があり、94万2千円については、自主防災組織補助金や消火競技大会補助金が対象です。

### 普通財産売却収入と公用車売却収入の内訳について

国有財産の払下げにかかるもの9件で、主なものはファナック(株)敷地が9557万2880円です。

公用車の収入については、消防車両4台で298万7千円です。

採決の結果、常任委員会に付託されました。

般会計歳入歳出決算認定(所管事項)、国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定(所管事項)、介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定(所管事項)、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定(所管事項)について、全委員異議なく認定することに決しました。





## 教育民生常任委員会

委員長 田村 正敏  
副委員長 中川 芳夫  
委員 細井 敬一  
〃 榎井 聰  
〃 小牧 敦子

### 国保の法定外繰出金は

保険税を上げるのは負担が大きいため、平成30年度から県が町とともに国保の運営を担うことも含め現在協議中です。

### 保育料の滞納額は

公立が1件、それ以外は民間で、計386万円です。

### 中央公民館改修の詳細は

エレベーターの設置や大ホールの舞台機構設備の改修工事です。また今後、「城址公園ホール」という名称を

定着させるようPRしていきます。

### ゆうがお馬拉ソンの展開は

一昨年からおもちゃ博物館のPRの為、優待券を参加者に配付しています。マラソン大会だけに終わることなく、まちをPRできる情報発信の大会にしていきたいと考えています。

### 小学校給食委託について

現在直営の学校も、将来的には委託の方向です。

### 認知症施策総合推進事業は

地域包括支援センターに認知症地域支援員を一人配置し、電話相談、自宅への訪問など相談支援を充実させ、関係各所との連携を図り、認知症の早期発見、早期受診を勧めて

おります。

採決の結果、当常任委員会に付託されました一般会計決算認定(所管事項)、国民健康保険特別会計決算認定(所管事項)、奨学資金特別会計決算認定、介護保険事業特別会計決算認定(所管事項)、後期高齢者医療特別会計決算認定(所管事項)について、全委員異議なく認定することに決しました。

## 建設経済常任委員会

委員長 坂田 昇一  
副委員長 高山 文雄  
委員 小貫 暁  
〃 大島 菊夫  
〃 鈴木 理夫

### おもちゃ博物館の公募の指定管理者について

商工観光課が指定管

理料として支出しているのは、施設の維持管理事業のみで人件費は含んでおらず、大きな工事は町が負担しています。人件費は、施設振興公社交付金として支出しており、それらを含むと赤字となっています。

### 緊急雇用創出事業費補助金について

補助対象事業は、失業者を雇い入れた人件費のみではなく、委託した会社の正社員の人件費や事務経費も含ま

れています。8人のうち現在も継続されているのは1人で、会社が継続して雇用した場合、町は通さないが会社へ直接支払われる補助金があります。

### 町営住宅の滞納額について

基本的な方針が2つあり、1つ目は、現年度の徴収に力を入れること。2つ目は、福祉の支援が必要な方に対して生活再建に力を入れること。それにより納入に繋がります。

### おもちゃのまち駅地下駐輪場について

無人化、部分的に無人化、防犯カメラ等の組み合わせを考えています。午前5時と午前0時のシャッターの開け閉めを東武鉄道と協議いたしました。できないとの回答でした。1日の利用者数は把握していますが、時間帯毎については、今

後調査し、時間帯によっては、職員を配置しないなどの検討をいたします。

採決の結果、当常任委員会に付託されました一般会計歳入歳出決算認定(所管事項)については、賛成多数で、公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定(所管事項)、農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定(所管事項)、水道事業会計決算認定(所管事項)について、全委員異議なく認定することに決しました。



# Q&A

## ここが聞きたい 一般質問



### 美町北部土地区画整理事業への支援を問う

町長 事業化に向けた取り組みを進めたいと考えています



大島 菊夫 議員

新たな住環境・企業進出の要望に応えられるストック整備について

報交換等を行いながら検討していきたいと考えています。

六美町北部土地区画整理事業への効果的な支援を問う

**問** 準備会組織の現状及び今後の取り組みを確認するとともに、町の支援の必要性を訴え、効果的となる具体的な支援策について、町の考えを求める。

**町長** 8月2日に六美町北部土地区画整理事業組合設立準備会が設立されました。

地域にお住まいの方々や地権者等で構成され、面積は49ヘクタール、会員数は現在253人です。

これまで地元意向に基づき、町が実施してきました基本調査や事業調査、現況測量等をもとに、今後においても基本設計を作成をし、準備会とともに組合設立に向けた事業計画案を策定し組合設立準備会と協働して、事業化に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

**問** 新たな定住人口の確保や、企業立地を促進するうえで、他の自治体に負けない対応の素早さや町独自の創意工夫・努力が必要と考えるが、現在の取り組み状況及び今後の対応に対する考えを問う。

**町長** 本町の優れた地域特性、交通特性を生かした企業誘致の推進が必要と考えています。

産業団地の造成は、多額の費用と期間を要する事業であります。景気の動向、企業の立地動向等を調査、分析を行い将来の発展の可能性や整備の具体的な方向性について、関係機関、進出企業等との情



六美町北部土地区画整理事業組合設立準備会設立

# Q&A

## ここが聞きたい 一般質問

# 観

## 光事業を拡充するには

### 経済部長 地域資源を活かし観光振興に努めます



小牧 敦子 議員

## 観光協会独立の必要性

**問** 町観光資源の主なもの  
は。

**経済部長** 自然景観ならば、とちぎ景勝100選の東雲公園エリア、古墳、社寺仏閣や蘭学の歴史エリア、文化ではかんぴょう文化、おもちゃ団地を中心としたおもちゃ文化、ミュージアム等があるおもちゃのまち文化、そして、栃木の百様に選ばれたわんぱく公

園・おもちゃ博物館エリア等  
などがあります。

**問** 来場者が増えているお  
もちゃ博物館。更なる戦略  
は。

**商工観光課長** おもちゃ博物館単独ではなく、他町との連携も含めまして周辺の地域連携を加えてPRをして相互に魅力を発信していきたいと考えています。

**問** 現在の観光協会は町が  
兼務業務として行っている。  
今後、観光事業を拡充する  
にあたり独立する必要性が  
あるのでは。

**経済部長** 観光協会の大半は  
任意団体であります。今後は、  
地域資源を活用した中での観  
光振興に努めていきます。法  
人化については、現在のところ  
考えていない状況でありま  
す。

## 道路交通法改正による 自転車利用

**問** 本年、町で発生した自  
転車に関わる事故発生件数  
と年齢層は。

**民生部長** 本年2月から7月  
までに8件発生しています。  
そのうち、高齢者は6人です。

**問** 高齢者を対象とした安  
全教室の実施状況は。

**民生部長** いきいき千雷クラ  
ブやシルバードライバーズク  
ラブ等の団体と協力し、警察  
や交通教育指導員による安全  
運転のための教室開催時に、  
正しい自転車の乗り方や交通  
ルールの周知を図っています。

**問** スタントマンによるス  
ケアード・ストレイト方式  
の安全教室。中学校での開  
催回数を増やせないか。

**生活環境課長** スタントマン  
によります交通事故の再現現  
場教室については、栃木県と  
栃木県警が主催となりまして、  
南犬飼中学校で9月24日実  
施されました。これについ  
ては、県の対応として実施され  
ています。



リニューアルによって来場者がアップした  
おもちゃ博物館

# Q&A

## ここが聞きたい 一般質問

# 新

## たな企業誘致推進事業はあるのか

### 町長 県企業局との情報交換をさらに密にしていきたい



赤羽根 信行 議員

いたしましても、そうした事業を支援するとともに、壬生町の更なる発展を目指し、若い人たちが持つ発想力や行動力をまちづくりを生かすなど、連携を図っていききたいと思えます。

は、町民の皆様や関係者のご意見をお伺いしながら、庁内において議論を深めていききたいと思えます。

**総務部長** 国庫補助金を導入した施設の長寿命化などがあります。町営住宅や歩道橋の改修では、社会资本整備総合交付金の交付を受け、進めています。

## 本町が進める地域活性化について

**問** 今後の企業誘致事業や「みぶ・羽生田産業団地」周辺開発の考えはあるのか。

**町長** 周辺開発につきましても、県企業局等との情報交換をさらに密にいたしまして、さまざまな可能性を視野に入れまして、今後検討を重ねていきたいと思えます。

今後は、南の街区にも工場を建設いただき、県企業局と

も連携を図りながら「産業未来基地とちぎ中央」の名にふさわしい団地となりますよう支援していききたいと思えます。

**問** 若者の考えや、意見等をまち全体で支援しなくてはならない活力支援策はあるのか。

**町長** 7月におもちゃのまちで開催されました「ビールまつり」には二万人の来場者を迎えるなど、すばらしい企画をしていただきました。町と

**問** 中小企業融資制度の活用は、経営基盤の強化に繋がっていない、今後の支援活動の施策はあるのか。

**町長** 創業支援事業計画を策定し、国の認定を受けるための事務を進めています。

## 本町の公共施設の老朽化問題について

**問** 人口減少や人口構成に応じた施設の高機能化施策の考えはあるのか。

**総務部長** 現時点では具体的な計画はございません。今後

**問** 行政として維持管理費の無駄を省くための財政負担軽減施策はどのようなものか。



産業の活性化に向けての壬生ブランド事業

# Q&A

## ここが聞きたい 一般質問

### 町

## 長・副町長の所信を問う

### 町長 安心で安定した組織づくり・まちづくりを進めます



高山 文雄 議員

### 小菅町長の町政運営の方向性は

**問** 地方創生時代、地域から町を変えていく為の仕組みと、そのビジョンを第6次振興計画で示すべき。P D C A サイクル構築をより進めるべき。今後、産業の活性化にどう取り組むか。

**町長** 行政がそれぞれの組織と連携を図り、安心で安定した組織づくり・まちづくりを進めていきます。町の活性化

は、地元の産業に活力があることが必要であり、いかに元気な商工業を育てていくかが重要であり、経営者との情報交換を密にして、タイムリーな施策が展開できるよう努力していきます。

**問** 副町長の町職員像、職員教育、人事評価制度について問う。

**副町長** さまざまな仕事の場面で、特に若い職員の人には提案型の仕事をしてもらい日

常の仕事のやり方の中で職員を育てていくというふうなことで考えています。評価システムは、単に機械的に数字的なものではなく、その人に応じた人事配置をやっていきたいと考えています。

### 田村教育長の掲げる教育方針は

**問** 問題を抱える教育界、教育理念、町民、児童生徒にコメントを。

**教育長** 郷土を愛し、夢と志を持ってたくましく生きる人づくりを教育理念として考えています。町民に郷土愛を育むことが地方創生の原点であり、根幹であり、いま一度世の中のために自分がすべきこと、すなわち志を持って夢を実現していくような、知・徳・体のバランスのとれたたくましい人づくりを目指していきます。

**問** 全国学力テストの結果をどう分析するか見解を問う。

**教育長** 栃木県の平均が4年連続で全国平均を下回ったことは、とても残念であり、原因をしっかりと検証した上で、改善を図りたいと考えています。

**問** 青少年健全育成の益々の推進を。

**教育長** 食育は生きる上での基盤であって、知育、徳育、体育の基礎となる重要な教育であり、今後もさらなる食生活習慣の向上・改善に向けて、尽力していく所存であります。



第6次総合振興計画の策定が進む

# Q&A

## ここが聞きたい 一般質問

# 安

## 全性確保のためのインフラ整備の展望は

### 民生部長 安全対策に努め必要に応じ整備を進めます



落合 誠記 議員

#### 民生部長

①当事者の方からの相談がないと把握できない状況であります。

②極力有害な化学物質の発生が少ない材料を使用するよう指導しています。

③ホームページ等で疾病等の理解、対応について情報提供をしていけるよう検討していきたいと考えています。

するため、これらの事業を進めています。

②下都賀福祉事業所と連携し、社会福祉協議会等の地域ネットワークを利用しながら、事

業に協力していきたいと考えています。

③県と連携し、国への働きかけを行っていききたいと考えています。

### 人と自動車に優しいまちづくりを

#### 問

①本町内の自動車が安全に走行できる道路確保を。  
②通学路の安全確保に「ゾーン30」の拡充等展望は。

#### 民生部長

①安全性を確保するため、地域特性や交通特性に応じた安全対策に努め、歩道等整備マニュアル等を参考に、今後必要に応じ整備を実施していきます。

### 化学物質過敏症への理解を

#### 問

①町内の発症者の把握は。  
②学校等公共施設の改修や維持管理に、化学物質に対する配慮は。  
③発症者への理解を促すための周知等、対応は。

②警察、自治会等と調整し、交通安全対策として「ゾーン30」の指定を検討していきます。

### 生活困窮者支援事業の推進を

#### 問

①モデル事業の報告など事例共有は。  
②実態把握と体制強化、人材の育成、NPO、社協への支援の進捗は。  
③任意事業の財源確保等、政府に働きかけるべきだが。

#### 民生部長

①生活困窮者の状況に合わせた支援措置を講じる必要があります。子供の家庭環境や学校での状況を把握



人と自転車に優しいまちづくりに、ゾーン30の拡充等が望まれる

# Q&A

## ここが聞きたい 一般質問

# 地

## 方創生事業は検証作業が重要だ

### 町長 施策を改善していく進捗管理を行っていきます



小貫 暁 議員

### 町の総合計画を示せ

**問** 五か年戦略策定には住民の声を反映させる必要があるが対応はどうか。

**町長** 15歳以上の幅広い町民の方から、住民の生活、結婚や出産等に関する意識、居住の希望や就職等のアンケートを実施し、地区別懇談会や分野別懇談会で意見をいただき、計画に反映させていきます。

**問** 事業は毎年度、内外有識者等による検証が重要だが町の対応はどうか。

**町長** 企画委員会の中で、毎年度施策及び関連事業の進捗を把握するとともに、基本目標及び施策の指標等の検証や次年度以降の施策を改善していく進捗管理を行なっていくこととなっています。

**問** 四つの基本目標について達成数値は明示できるか。

**町長** 戦略の計画の中では、目標数値が数字で入り込んでおりますので、数字で出している以上は、目標をしっかりと達成する努力をしなければならぬと思います。

**介護利用料引き上げは利用抑制になる**

**問** 8月からの利用料倍化対象認定者数及び相談者への対応はどうか。

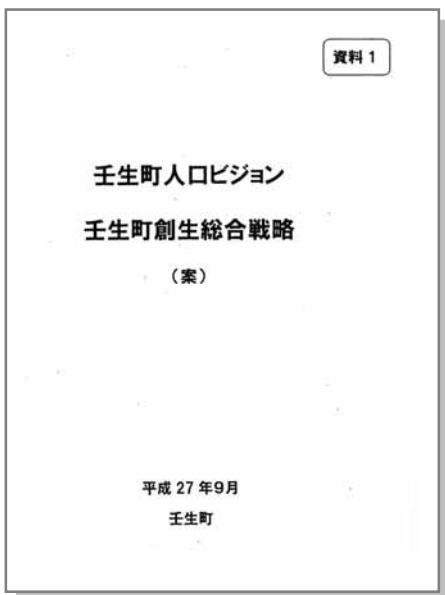
**民生部長** 7月31日までが有効期限の負担限度額認定証をお持ちの方に對し、6月29日に更新の勧奨通知を送りまして、8月3日に決定通知及び負担限度額認定証を発送しています。また、制度改正に伴うものでありますので、ご理解いただきたい旨の説明をしています。

**問** 施設利用者の資産条件による引き上げ(単身者一千万円)は無理がある。

**民生部長** 特例の軽減措置を受けられることができます、ということの説明をしています。

**問** 補足給付から外れた認定者に町の助成措置必要。

**健康福祉課長** 家族や施設の方に事前に周知をし、ケアマネジャーなどにも周知や漏れの無いように対応しています。



地方の自主性、主体性を持たせ、幅広く住民の声を反映した戦略策定及び検証が求められている。

## 各常任委員会の閉会中における所管事務調査報告

各常任委員会での調査結果につきましては、9月定例議会最終日の本会議において、各常任委員長が報告しました。

### 総務常任委員会

平成27年6月議会定例会において閉会中の継続審査といたしました総務部総合政策課所管の「壬生町における情報セキュリティの現状に関する検証について」8月10日、31日の2日間、全委員出席のもと調査いたしました。担当者から受けた主な内容は、本町のネットワーク構成については、現在ほとんどの職員一人一人に1台ずつパソコンが設置されており、様々なシステムを使用しており庁内LAN、公会計システムにはほぼ全てのパソコンが接続しています。

壬生町情報セキュリティポリシーについては、町が保有する情報を安全に使用するために、職員は遵守する責務があります。

しかし、物理的かつ技術的に万全な対策を行っても100%のセキュリティはありません。特に



人的セキュリティが重要です。今後、職員一人一人の意識を高めるため定期的に情報セキュリティ研修会を実施し対応を図ってまいりますとの説明を受けました。

委員より、職員には意識改革をしっかりと持ってもらって、情報セキュリティについて万全の対策を要望したいとの意見がありました。

総務常任委員会  
委員長 玉田 秀夫

### 教育民生常任委員会

議会閉会中において「町民活動センター（みぶりん）の活動状況」「図書館の指定管理運営事業」について調査いたしました。

民生部生活環境課より、みぶりんの周知の方法については、町のHP上の左サイドメニュー「町の施設一覧」の枠からリンクされており、みぶりん自体のホームページもあること。社協との差別化として、福祉分野に限らず、色々な分野の団体に登録していただいていると説明を受けました。また、みぶりんだよりの発行やスタッフの研修、そして内部団体の育成に力をいれており、将来は、現在の直営から、指定管理等の運営方法も視野に入れていることも説明を受けました。委員会として、みぶりん主体の自主イベントの開催や、登録団体がイベントを開催するときのチケット販売代行について検討するよう要望いたしました。

次に、教育委員会生涯学習課より、図書館の指



定管理運営について、開館時間の1時間半の延長やサービスの向上が図られた結果、入館者数、貸し出し数、貸し出し人数が増えたと説明を受けました。移動図書館の巡回場所については、要望・アンケート等を考慮しつつ今後検討しますとのことでした。

最後に委員会として、人気の高い移動図書館をしっかりと継続して頂くことや、赤ちゃんコーナーを利用者目線により広く使いやすいものにすることを要望いたしました。

教育民生常任委員会  
委員長 田村 正敏



汚水処理場の現況に関する事項につきましては、所管下水道課から用意された資料により主に「排水下水汚泥の処理」「公共下水道・農業集落排水事業の現状」について、各項目について説明を受け調査いたしました。

排水下水汚泥の処理については、資源化工場に参加しては、想定汚泥量は、資源化工場の処理能力や維持管理の上で、各市町とも80%以上を出す決まりになっていますが、震災以降は80%に85%を乗じた68%を出す決まりになっていきますとの説明がありました。

水処理センターの汚泥搬出量の3割が民間処理になっているが、処理費を支払って、処理している民間処理委託は、1トンあたり2万5000円、資源化工場は平成26年度ベースで、1トンあたり3万9千円。資源化工場はある程度の処理量がないと単価が上がってしまうため、町としては、なるべく民間に委託して処理費を減らしたいとの説明がありました。

農業集落排水の汚泥運搬量が平成25年度から26年度で減少しています。含水率によるものと考

えられます。農業集落排水はおそらく平均で98%、含水率が97%になっただけでも処理量は3割くらい違ってしまい、平成26年度は25年度に比べ、濃縮が幾分良かったと推測されますとの説明がありました。

公共下水道・農業集落排水事業の現状につきましては、農業集落排水事業の未接続の方に対しては、通知を出して接続をお願いしています。

最後に委員会として、通知を出すだけではなく、積極的にPRし、接続率を上げるよう努力して欲しい旨の要望をいたしました。

建設経済常任委員会  
委員長 坂田 昇一



## 被災現地調査を実施

### 壬生町長に要望書提出

9月10日台風18号による被害状況を全議員で調査してきました。

今回の大雨は、壬生町の広範囲で被害を受け、災害救助法が適用となりました。

そこで、壬生町議会では、一日も早い災害復旧を壬生町長に要望しました。



安塚地内



羽生田通学橋



上稲葉地内



### 栃木県に災害対策求める

壬生町議会では、平成27年9月17日、議員提出による台風18号の大雨に伴う災害対策を求める意見書を提出し、本会議での採決を受け、翌18日栃木県に直接意見書を提出しました。



鈴木副知事（左から2番目）

所管事務に関し、視察研修により調査研究を行ってきました。その内容について報告します。

## 議会運営委員会

### 議会報告会について

福島県伊達市  
福島県喜多方市

委員長 大島 菊夫  
副委員長 河野辺恒雄  
委員 小貫 暁  
〃 落合 誠記  
〃 榆井 聡  
〃 田村 正敏

議会運営委員会では、7月21日、福島県伊達市及び福島県喜多方市において研修を実施しました。

伊達市の概要は、人口6万4千人、野菜や果物を中心に農業が盛んで、特にいちご、ももの産地です。

伊達市では、議会報告会を議員30人を5班集体とし、小学校21学区で実施しています。

議会報告会終了後は、議会及び執行部に対する要望を取りまとめ、質疑応答は議会だよりの中で報告しています。答弁については、各班共通とし、班長が答えることとしているとの説明でした。

喜多方市は、人口5万2千人、



主幹産業は農業中心ですが、観光都市で、「喜多方ラーメン」「山都そば」が有名です。

喜多方市では、基本条例に基づき報告会を実施し、決算審査、市政の主な課題について報告し、各班長が直近の全協で報告しています。

両市の共通の課題は、政治離れから参加者が徐々に減っていることでありました。

本町においても、この研修を参考にいたしまして、分かりやすい議会を心がけ、今年10月の初回となる「議会と住民との懇談会」に向けて、今後取り組んでいきたいと思う研修会でした。

## 広報特別委員会

### フレッシュな紙面づくりを目指して

福島県伊達市  
福島県猪苗代町

委員長 赤羽根信行  
副委員長 玉田 秀夫  
委員 坂田 昇一  
〃 中川 芳夫  
〃 遠藤 恭子

広報特別委員会では、視察研修のため、議会広報先進の福島県伊達市と猪苗代町に行ってきました。

より読みやすい、読んでもらえる議会だよりの紙面づくりについて両市町とも当町と同様に町民の読者の立場に立って紙面づくりをしていること、特にこれからはいかに若者の考えや、声を聴き紙面づくりをし、多くの読者を取り込まなければならぬかなど、お互いに意見交換をしてきました。

伊達市では議会広報クリニクにおいて読みやすいが中身の充実を指摘され、中身の濃い紙面づくりに委員全員で奮闘していました。また、特に委員の中



にプロ級の写真家がいって表紙を変え、一般質問を増やして市民の声を上げる努力をされていました。私たちも表紙については毎回重要な案件の一つになっています。

猪苗代町においては写真を多くし、字もできるだけ大きく、分かりやすく、討論についてもわかりやすく、簡素に掲載するようにしていました。現在当町の議会だよりでは今年度から発刊を定例会の翌月23日にして、いかに新鮮な紙面提供を心がけています。

今回の研修においての先進事例を参考にして、町民に愛読されるような議会だよりづくりに、委員全員気持ちを一新した研修会でした。

# 議案に対する賛否状況

※市川義夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	遠藤 恭子	赤羽 根信行	河野 辺恒雄	小牧 敦子	坂田 昇一	玉田 秀夫	田村 正敏	中川 芳夫	鈴木 理夫	榎井 聰	大島 菊夫	落合 誠記	高山 文雄	細井 敬一	小貫 暁
議案第1号	壬生町個人情報保護条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第2号	壬生町手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合理約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	平成27年度汚水処理施設整備交付金農業集落排水事業黒川東部地区処理施設建設工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	平成27年度汚水処理施設整備交付金農業集落排水事業黒川東部地区処理施設機械電気設備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	壬生町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成27年度壬生町一般会計補正予算（第2号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	平成27年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	平成27年度壬生町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成27年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成27年度壬生町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成27年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	平成26年度壬生町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	平成26年度壬生町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第15号	平成26年度壬生町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第16号	平成26年度壬生町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	平成26年度壬生町奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	平成26年度壬生町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第19号	平成26年度壬生町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	平成26年度壬生町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第21号	平成26年度壬生町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成27年度壬生町一般会計補正予算（第3号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	壬生町議会議規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	壬生町議会傍聴規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	台風18号の大雨に伴う災害対策を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※斜線は欠席者です。

## 「ゆうがおマラソン・ソフトボールinみぶ」に参加



町総合運動場で「第24回ゆうがおマラソン・ソフトボール in みぶ」(町ソフトボール協会主催)が開催されました。

雨が強く降る中、議会は「ひばりチーム」として参加し、親睦を深めました。

また、8月22日に開催された、「ふるさとまつり」にも議会チームとして参加し、楽しみにしている花火大会では、その美しさに魅了されました。



砂利の下に埋もれた稲穂(福和田地内)



仮復旧作業中の堤防(福和田地内同上)

**農業被害を激甚指定**

今回の異常気象は、赤道近くの海水の温度の上昇、台風が発生と様々な要因が重なり大雨となりました。世界の気候は少しずつ変化してきています。

9月9日から降り出した大雨、10日には、「大雨特別警報」が県全域に発令されました。

壬生町が災害対策本部を立ち上げたことを受け、壬生町議会でも、災害対策本部を10日に立ち上げ、現地調査を行いました。広範囲に及んだ大雨による被害、自然の猛威を痛感し、早急な災害復旧の必要性を感じました。

壬生町議会では、被災者の方が一日も早く安心して生活に戻れるよう、壬生町と共に支援していきます。最後に、壬生町消防団を中心とした様々な組織の方に、昼夜、悪天候に関わらず連日連夜徹夜で作業をしていただきました。心から感謝申し上げます。

### 表紙写真の説明

#### 「壬生町ゆうがおマラソン・ソフトボールinみぶ」開会式

今年で24回目を迎えた「壬生町ゆうがおマラソンソフトボールinみぶ」が9月6日(日)18チームの参加により開催されました。

好・珍プレイの連続で各試合は大変な盛り上がりでした。

開会式の力強い選手宣誓を行ったのは、壬生中学校ソフトボール部の選手です。

玉田秀夫

### 議会広報特別委員会



委員長	赤羽根信行	委員	坂田 昇一
副委員長	玉田 秀夫		中川 芳夫
			遠藤 恭子

### 編集後記

夏の暑さもひと段落し、朝晩は涼しくなってきました。

9月の台風18号では、栃木県初となる【大雨特別警報】が発令されました。被災されました皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

町議会での現地調査の際、家屋の浸水、農地及びハウスの冠水や道路・橋梁等の破損など想像を絶する被害を目の当たりにし、心が痛みました。

調査後、議会では、町民の皆様への安全・安心の確保、災害からの復旧・支援に向け、町及び県へ要望書を提出いたしました。

災害に際し、壬生町消防団・自主防災組織等、多くの方々に、ご支援・ご協力をいただき、その光景に何度頭を下げたことでしょうか。

被災者の方に、一日も早く穏やかな日々が訪れますように。

(遠藤恭子 記)

### お詫びと訂正

議会だよりNo.173号、一般質問Q&Aについて、誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

8頁 写真 誤) 楡井 聰 議員 正) 楡井 聰 議員

11頁 大見出し 誤) 「戦争放棄」 正) 戦争法案